



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 関東電化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4047 URL <http://www.kantodenka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員法務・総務部長 (氏名) 浦本 邦彦

TEL 03-3257-0371

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	24,143	13.1	4,183	2.7	4,250	5.8	2,950	9.2
29年3月期第2四半期	21,340	2.5	4,075	5.0	4,017	△0.9	2,701	△10.4

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 3,848百万円 (60.3%) 29年3月期第2四半期 2,400百万円 (△12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	51.28	—
29年3月期第2四半期	46.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	62,614	36,706	56.8	618.50
29年3月期	60,790	33,169	52.7	557.17

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 35,578百万円 29年3月期 32,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,700	10.1	7,500	△19.9	7,600	△19.3	4,950	△26.0	86.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	57,546,050 株	29年3月期	57,546,050 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	22,530 株	29年3月期	22,530 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	57,523,520 株	29年3月期2Q	57,524,585 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年11月22日(水)に機関投資家・証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(セグメント情報).....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外においては、中国ならびにアジア新興国経済の景気下振れリスクのほか、金融資本市場の変動リスクについても留意する必要があると、先行き不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、精密化学品事業部門が、販売数量の増加により増収となったため、241億43百万円と前年同期に比べ28億03百万円、13.1%の増加となりました。損益につきましては、経常利益は42億50百万円と前年同期に比べ2億32百万円、5.8%の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は29億50百万円と前年同期に比べ2億48百万円、9.2%の増加となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① 基礎化学品事業部門

か性ソーダは、販売数量の増加と価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。塩酸は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

塩素系有機製品につきましては、トリクロールエチレンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。パークロールエチレンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、28億48百万円となり、前年同期に比べ18百万円、0.7%の増加となりました。営業損益につきましては、原燃料費用の上昇等により、営業損失1億47百万円となりました（前年同期は営業利益62百万円）。

② 精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素は、販売価格は低下したものの販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。六フッ化タングステン、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、174億68百万円となり、前年同期に比べ21億50百万円、14.0%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益39億54百万円となり、前年同期に比べ4億06百万円、11.4%の増加となりました。

③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の減少はあったものの、新規製品への切り替えが進み、前年同期に比べ増収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、12億85百万円となり、前年同期に比べ17百万円、1.4%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益3億36百万円となり、前年同期に比べ1億09百万円、48.3%の増加となりました。

④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、11億06百万円となり、前年同期に比べ1億66百万円、17.8%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益53百万円となり、前年同期に比べ26百万円、32.9%の減少となりました。

⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、14億36百万円となり、前年同期に比べ4億50百万円、45.7%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益78百万円となり、前年同期に比べ1億14百万円、59.5%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が減少した一方、有形固定資産や棚卸資産、投資有価証券、受取手形及び売掛金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ18億24百万円増加し、626億14百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方、借入金や未払法人税等が減少したことなどから17億13百万円減少し、259億08百万円となりました。純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどから35億37百万円増加し、367億06百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から56.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年8月10日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,520	7,801
受取手形及び売掛金	12,773	13,193
商品及び製品	2,567	2,526
仕掛品	3,551	3,870
原材料及び貯蔵品	2,038	2,822
その他	1,848	2,255
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	33,282	32,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,702	5,988
機械装置及び運搬具(純額)	6,516	8,467
その他(純額)	6,669	6,114
有形固定資産合計	18,888	20,571
無形固定資産	408	501
投資その他の資産		
投資有価証券	7,325	8,508
その他	890	587
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,211	9,091
固定資産合計	27,508	30,163
資産合計	60,790	62,614

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,908	7,491
短期借入金	4,683	4,691
1年内返済予定の長期借入金	3,869	2,521
未払法人税等	1,612	1,278
役員賞与引当金	96	32
その他	4,474	4,505
流動負債合計	21,644	20,519
固定負債		
長期借入金	3,926	3,308
役員退職慰労引当金	113	116
退職給付に係る負債	1,664	1,672
その他	273	290
固定負債合計	5,977	5,388
負債合計	27,621	25,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,816	1,823
利益剰余金	25,169	27,832
自己株式	△12	△12
株主資本合計	29,851	32,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,257	3,043
為替換算調整勘定	50	103
退職給付に係る調整累計額	△108	△89
その他の包括利益累計額合計	2,199	3,057
非支配株主持分	1,118	1,128
純資産合計	33,169	36,706
負債純資産合計	60,790	62,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	21,340	24,143
売上原価	14,081	16,586
売上総利益	7,258	7,557
販売費及び一般管理費	3,183	3,373
営業利益	4,075	4,183
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	83	95
デリバティブ評価益	54	64
試作品等売却代	28	2
その他	52	96
営業外収益合計	226	262
営業外費用		
支払利息	84	60
為替差損	178	108
その他	20	27
営業外費用合計	283	195
経常利益	4,017	4,250
特別損失		
固定資産除却損	74	82
特別損失合計	74	82
税金等調整前四半期純利益	3,943	4,168
法人税等	1,143	1,212
四半期純利益	2,799	2,956
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,701	2,950

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,799	2,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	816
為替換算調整勘定	△471	57
退職給付に係る調整額	29	19
その他の包括利益合計	△398	892
四半期包括利益	2,400	3,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,334	3,807
非支配株主に係る四半期包括利益	66	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,829	15,317	1,267	939	985	21,340	—	21,340
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	530	69	39	1,759	1,103	3,502	△3,502	—
計	3,359	15,387	1,307	2,698	2,088	24,843	△3,502	21,340
セグメント利益	62	3,548	226	79	193	4,110	△35	4,075

(注) 1. セグメント利益の調整額△35百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,848	17,468	1,285	1,106	1,436	24,143	—	24,143
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	562	87	58	1,868	1,515	4,092	△4,092	—
計	3,410	17,555	1,343	2,974	2,952	28,236	△4,092	24,143
セグメント利益又は 損失(△)	△147	3,954	336	53	78	4,275	△91	4,183

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△91百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。